

当初予算の主な質疑

歳入

預金利子の減は マイナス金利政 策の影響か

問 (佐藤定男議員)

町預金利子14万5000円の予算は、前年比2万5000円の減だが、日銀のマイナス金利導入の影響を考慮したものなのか。また、低金利下での今後の運用方針を伺う。

會計管理者 平成27年度の実績をもとに計

上したもので、1年以内の短期の定期預金での運用には、現在のところマイナス金利政策の影響はないものと考えている。

また、資金に余裕がある場合、町の資金管理・運用基準に基づき今後も指定金融機関などに定期預金で預

け入れを行い、預金利子の確保に努めていく。

体育施設の使用 料は適正か

問 (井砂善榮議員)

町の体育施設は9施設あるが、使用料は適正なのか。

生涯学習課長 使用料は条例に基づき負担を

お願いしているが、一部町民については無料や減免となる施設もある。

歳出

年金生活者支援 臨時福祉給付金 の対象者は

問 (渡辺勝弘議員)

年金生活者支援臨時福祉給付金4200万円は、高齢者すべてが対象と

なるのか。また、対象外の方への説明はどうするのか。

保健福祉課長 国の政策として平成27年度町

民税非課税の方の内、平成28年度中に65歳以上になる方が対象で、1人につき3万円が支給される。ただし、課税されている方に扶養されている場合は対象とならない。

また、制度の周知について、国ではテレビやインターネットなどあらゆるメディアを通して公表をするとしている。町ではちらしなどでの周知のほか、対象者には直接給付案内の通知を郵送する予定である。

仮置場の契約は 当初の期間で終 了するのか

問 (阿部泰藏議員)

原発災害対策費の用地借地料1932万円について、仮置場の契約は平成25年から3年という国の取り決めだが、今年度末で契約は終了するのか。

原発災害対策課長 今年度末で契約が終了するのは5か所だが、中間貯蔵施設整備の状況により延長せざるを得ないと考えている。

3年の期間で再度契約を變更して進めていく。次年度以降も契約期限が訪れるが、同様に3年で更新をお願いしていく考えである。

防火水槽と消火栓の 設置数減の理由は

問 (渡辺勝弘議員)

平成25年3月定例会で、防火水槽や消火栓は毎年2基で計画的に設置していると答弁があったが、1基に減った理由を伺う。

住民生活課長 平成25年度の基分として計上されたが、

実際のところかなりの工費がかかった。震災以降、資材の高騰などで工事費が高くなっている状況もあり、復旧復興の事業との兼ね合いも踏まえ、消防団の幹部会議でも協議した上で、毎年1基で行っている。

体育施設の管理 体制は十分か

問 (井砂善榮議員)

体育施設の管理は1人体制で十分に足りているのか疑問だが、管理体制をどう考えているか。

生涯学習課長 非常に長時間にわたる業務だが、個人での請負で実施しているのが現状であり、平成28年度は改善していくよう検討中である。



3月の初午では役場庁舎への放水が行われた

■平成28年度各会計当初予算

会計名	平成28年度 当初予算	前年度対比	
		増減額	増減率
一般会計	91億4000万円	△20億9000万円	△18.6%
特別会計	国民健康保険	△8713万円	△6.0%
	介護保険	3465万円	3.2%
	公共下水道事業	△279万円	△1.2%
	後期高齢者医療	△539万円	△4.7%
	土地開発事業	△400万円	△8.1%
	渇水対策施設	149万円	19.4%
	入山財産区	0万円	0.0%
	大木戸財産区	0万円	0.0%

■水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億5738万円	2億3318万円
資本的収支	2億3497万円	2億7768万円

※資本的収支の差は内部留保資金で補います。

国見小校庭の改修は原発災害対策費でまかなえないか

問

(村上正勝議員)

教育費の国見小学校校庭改修工事について、フレコンバッグが埋め立てであつた場所だが、原発災害対策費でまかなうことはできないのか。

原発災害対策課長

小学校の校庭に埋設していたものを掘り起こし、現在パイロット輸送を行っているが、その際埋め戻しを行った。その作業に明確に起因することがわかれば除染対策事業交付金の中で認めてもらえるものもあるが、因果関係がはっきりしないものまですべて整備できるものではない。

幼稚園から英語活動をする理由は

問

(佐藤定男議員)

幼稚園では日本語の習得でも精一杯であるが、あえてこの時期に英語活動を取り入れた理由を伺う。

幼児教育課長

現在、幼稚園でも中学校の英語指導助手による歌やゲームを通して英語に親しむ活動をしている。保幼小中一貫教育の中で国際教育の充実が掲げられており、幼稚園から小学校の英語活動へつなげるため、おもに年長児を対象に週1回、各クラス30分程度予定している。

電気料の自由化による削減の考えは

問

(八島博正議員)

需用費の電気料について、4月1日から電気料の自由化にともない、町では電気料削減についてどのように考えているのか。

また、プロジェクトチームを立ち上げての検討も必要だと思いがいかか。

総務課長

施設の電気料について、まずは今の契約の中で、消灯などにより瞬間的にピークの電気料を抑えることで総額を抑えることも含めて検討したい。

また、自由化にともなう電気料については、それぞれの内容を調査しながら今後検討していきたい。

副町長

自由化の状況をも十分見極めて対応し、検討委員会の設置については前向きに検討していきたい。

観光要素のある林道の定期的な見回りの予定はあるか

問

(浅野富男議員)

町の全体的な計画からすれば、林道北口線や赤坂線など観光要素もあると思う。今後手入れもきちんとしなければならぬが、定期的な見回りなどの予定はあるのか。

建設課長

春先の通行量も増えるので、道路巡視員により、倒木などで通行に支障がないか、月水金でパトロールをしている。

敬老祝金は近隣と比べてどのような状況か

問

(松浦常雄議員)

敬老会事業の敬老祝金880万円は、長寿者が増えると金額も大きくなるが、近隣と比べてどうなのか、今後見直す考えはあるのか。

保健福祉課長

町では85歳以上の方に1万円、99歳以上の方に毎年20万円を差し上げている。近隣の状況をみるとポイント的に喜寿、米寿、100歳に祝金を支給することが多い。町の状況と照らし合わせて精査し、今後見直しを検討していきたい。